

授業科目名	スポーツコーチング学特講演習（テニス）		授業形態	演習	授業科目区分	応用科目 (スポーツ総合科学)
担当教員名	高橋 仁大				補助担当者名	村上 俊祐
単位数	2 単位		履修年次	－	受け入れ人数	－
授業の概要 及び達成目標	球技ならびにテニスにおけるコーチングを行うために考えるべき原理・原則から、テニスのコーチング学に関する文献講読、映像を活用した技術のコーチング、ゲーム・戦術のコーチングなど、テニスを切り口に球技およびスポーツ全般に関わるコーチング学を展開する。					
成績評価の方法	□学期末試験の成績（％） ■授業への取り組み状況（50%） ■レポート等の提出状況（50%） を総合的に評価する。					
成績評価の基準	講義内での発表状況と発表内容、演習への取組状況や積極性、期末レポートの内容と完成度を評価の基準とする。					
テキスト、教材 参 考 書	The Essentials of Performance Analysis, M. Hughes and I. Franks, Routledge. Routledge Handbook of Sports Performance Analysis, T. McGarry, P. O'Donoghue and J. Sampaio, Routledge 体育・スポーツに分野における実践研究の考え方と論文の書き方、福永哲夫・山本正嘉編、市村出版 コーチング学への招待、日本コーチング学会編、大修館書店 球技のコーチング学、日本コーチング学会編、大修館書店					
履修条件・ 関連科目				備考(教員メッセージ含む)	コンピュータで映像を操作することの基本的技能を備えていることを前提とする。また学内外で開催される各種講習会やセミナーへの参加を奨励する。 本講義では、学生への教育的効果を高めるために、授業実施の様子をビデオカメラ等で撮影することがあります。なお、撮影した映像は、原則として学内での教育・研究活動にのみ使用します。	
オフィス・アワー	随時 809教員研究室					
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	高橋 仁大	スポーツコーチング学の原理・原則			講義内容の予習と復習（1時間）	
2	〃	テニスのコーチング学に関する文献講読①			講義内容の予習と復習（1時間）	
3	〃	テニスのコーチング学に関する文献講読②			講義内容の予習と復習（1時間）	
4	〃	テニスのコーチング学に関する文献講読③			講義内容の予習と復習（1時間）	
5	〃	テニスのコーチングにおける映像活用演習 技術指導での活用①			講義内容の予習と復習（1時間）	
6	〃	テニスのコーチングにおける映像活用演習 技術指導での活用②			講義内容の予習と復習（1時間）	
7	〃	テニスのコーチングにおける映像活用演習 技術指導での活用③			講義内容の予習と復習（1時間）	
8	〃	テニスのコーチングにおける映像活用演習 技術指導での活用④			講義内容の予習と復習（1時間）	
9	〃	テニスのコーチングにおける映像活用演習 ゲーム・戦術指導での活用①			講義内容の予習と復習（1時間）	
10	〃	テニスのコーチングにおける映像活用演習 ゲーム・戦術指導での活用②			講義内容の予習と復習（1時間）	
11	〃	テニスのコーチングにおける映像活用演習 ゲーム・戦術指導での活用③			講義内容の予習と復習（1時間）	
12	〃	テニスのコーチングにおける映像活用演習 ゲーム・戦術指導での活用④			講義内容の予習と復習（1時間）	
13	〃	スポーツのコーチング学に関する文献講読①			講義内容の予習と復習（1時間）	
14	〃	スポーツのコーチング学に関する文献講読②			講義内容の予習と復習（1時間）	
15	〃	スポーツコーチング論の構築に向けて			レポート（2時間）	